

定例記者発表次第

日時／令和5年12月8日（金）
10時40分 開始予定
会場／矢板市役所 第一委員会室

1 開会

2 記者発表案件

- (1) 環境教育・ESD 実践動画 100 選の選定について（泉保育所）
 - ・選定動画「子どもと取り組むSDGs」視聴
 - ・保育所の子どもたちによる作品紹介

3 質疑応答

4 提供案件

- (1) 年末年始の業務体制について（総務課）
- (2) 「終活に係る業務の支援に関する協定書」締結式の実施について（高齢対策課）
- (3) 矢板市子ども未来館のネーミングライツパートナーの募集について（子ども課）
- (4) 矢板武記念館イベント「あんどん&和傘イルミネーション」について（生涯学習課）
- (5) 「親子プログラミング教室」の開催について（生涯学習課）
- (6) 矢板市立図書館1月イベントの開催について（生涯学習課）
- (7) 矢板高校生の農業委員会総会傍聴について（農業委員会事務局）

5 その他

6 閉会



記者発表予定 令和6年1月19日（金）10時30分～ 第一委員会室

記者発表資料

令和5年12月8日（金）発表・提供

件名	環境教育・ESD 実践動画 100 選の選定について		
1 内容	<p>環境省では環境教育・ESD の実践を社会に広げていくため、取り組み動画を選定し、ショーケースとして広く発信することを目的に、優良事例の動画を公募しました。</p> <p>泉保育所では、保育者がSDGsについて学び、子ども達にSDGsを知る機会を幼少期から体験させていくことが大切だと考え、昨年度から「子どもと取り組むSDGs」をテーマに保育の中で子ども達に伝えていくための内容や方法について考え、実践してきました。</p> <p>これらについて、子ども自身が取り組める17の目標内容や、廃材を利用した作品づくり、歌やダンスを通じて子ども達に関心を持たせるきっかけづくりをしている実践動画を3分程度にまとめ応募したところ、優良事例として選定されました。</p>		
2 選定数	81件（応募総数88件）		
3 動画	環境省ホームページ https://www.env.go.jp YouTube チャンネル youtube.com/kankyosho		
4 認定証授与式	令和5年12月9日（土） 欠席		
※提供資料の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有（別添のとおり）・無			
担当課・担当名	泉保育所		
担当者名	仲山 裕美		
電話番号	0287-43-0435	内線電話番号	

【学校教育部門】

	学校名	活動タイトル	都道府県
1	中村学園女子中学校・高等学校	「食」の探究と課題解決を通じた地球環境を守る人材の育成	福岡県
2	栗原学園やまた幼稚園	How can we make clean water?	神奈川県
3	学校法人たから学園 認定こども園たから幼稚園	子ども達の笑顔で繋がる持続可能な社会へ	福岡県
4	八丈町立 三原小学校	三原小 海ごみプロジェクト	東京都
5	矢板市立泉保育所	子どもと取り組むSDGs	栃木県
6	奈良教育大学附属中学校	学校の机の天板が県産のスギになるまでのストーリー	奈良県
7	兵庫県立龍野高等学校・自然科学部	生物多様性龍高プラン	兵庫県
8	学校法人本城学園 認定こども園 本城東幼稚園	本城東幼稚園のSDGs！	福岡県
9	横浜市立南希望が丘中学校 ビオトップ委員会	池の観察	神奈川県
10	長野県佐久平総合技術高等学校・農業科	ESDの視点を取り入れた課題研究の実践	長野県
11	学校法人黒田学園 日南幼稚園	Toys ガチャ	宮崎県
12	群馬県立前橋東高等学校	進路プランニング I	群馬県
13	世田谷区立玉堤小学校	地球を救うわたしたち	東京都
14	結城市富士見幼稚園	森の幼稚園 足袋とりサイクル遊び	茨城県
15	多摩市立連光寺小学校	未来に優しいエネルギー	東京都
16	上士幌町立上士幌中学校	上士幌町立上士幌中学校の環境教育の取り組みの紹介	北海道
17	岡山市立操南中学校	操南中学校「軌跡」～よりそい、つながり、共に歩む～	岡山県
18	豊田市立竜神中学校	未来につながる小さな一歩 ～ 豊田市ごみ非常事態宣言と向き合う その1:スタート ～	愛知県
19	北海道岩見沢農業高等学校	再生可能エネルギーを活用した豪雪地帯における周年栽培モデルの確立	北海道
20	上士幌町立上士幌小学校	上士幌小学校ESDへの取組	北海道
21	岡山県立邑久高等学校	瀬戸内市SDGsカードゲームwith邑久高生	岡山県
22	多摩市立鶴牧中学校	わたしたちの環境教育in鶴牧	東京都
23	大成学園いなだこども園	ホテルに会いに行こう～いなだっこ理科教室～	茨城県
24	浜松学芸高等学校	高校生による地域の魅力発信活動	静岡県
25	多摩市立多摩第二小学校	E(いいね!)S(そうやれば)D(できるんだ!)の実践	東京都
26	多摩市立西落合小学校	「ESDの視点に立った学習指導で重視する資質・能力」を育てるための指導の工夫	東京都
27	ひかりの森こども園	園生活でのコンポスト	宮崎県
28	愛媛県立吉田高等学校	愛媛県立吉田高校海洋プラごみリサイクルプロジェクト	愛媛県
29	上士幌町認定こども園	上士幌町認定こども園 自然体験とSDGsの取り組み	北海道
30	大崎町立菱田小学校	ともにつなごう未来の大崎町	鹿児島県
31	浦添市立港川小学校	カーミージー探検隊	沖縄県
32	屋久島町立岳南中学校	屋久島型ESD ポスターセッション	鹿児島県
33	福井県若狭町立気山小学校	ふるさとの宝！うなぎ筒漁体験学習	福井県
34	埼玉県嵐山町立嵐山幼稚園	子供たちの豊かな感性と創造性を育む環境教育～年間を通じてSDGsに取り組み、家庭や地域に発信する～	埼玉県
35	島根県立浜田養護学校	にこにこプロジェクト～使わなくなった油でせっけんをつくってシンクをピカピカにしよう～	島根県
36	群馬県立藤岡北高等学校	小川の未来を考える	群馬県
37	横浜国立大学 教育学部 附属鎌倉小学校	コンポストで校内資源の循環	神奈川県
38	京都府立北嵯峨高等学校・生物部	地域連携と次世代につなぐ豊かな自然環境～カッパ流域ネットワークの拡大を目指して～	京都府
39	港区立青山小学校	青小が始める持続可能な社会づくり	東京都
40	新渡戸文化中学校・高等学校	未来づくりの主体者を育む教育デザイン～余白と旅～	東京都
41	四日市市立橋北中学校	自分らしい生き方のヒントを見つける修学旅行	三重県
42	福岡工業大学附属城東高等学校・科学部	私たち科学部の日々の活動	福岡県
43	熊本県山都町立蘇陽小学校	蘇陽小版SDGs	熊本県
44	熊本市立西原小学校	SDGsで広がる緑化活動～コキアほうきとへちまたわしの取り組みを中心に～	熊本県
45	小金井市立東小学校	「小金井市気候非常事態宣言」を受けて ～小金井市立東小学校『ハチドリプロジェクト』の実践～	東京都
46	多摩市立多摩第三小学校	環境問題を考え、できることから取り組もう	東京都

【社会教育部門】

	団体名	活動タイトル	都道府県
47	里山クラブ可児	自然学校-初夏 2023 田植え体験	岐阜県
48	公益財団法人大阪 YMCA YMCA阿南国際海洋センター	ESD教育の実践を無人島で！SDGs キャンププロジェクト	徳島県
49	一般社団法人かのあ	千歳川リバークリーンデイ	北海道
50	MIYASHIROエコ☆スターズ	自然エネルギーで「エコ☆スタLet's 地産地show cooking!!」	埼玉県
51	株式会社タイチ	第28回 海のゴミ拾い活動記録	愛媛県
52	公益財団法人 吉野川紀の川源流物語	森と水の源流館 ESD授業づくりセミナー	奈良県
53	合同会社バンゲア	上勝サステナブルアカデミー MoonShotプログラム	徳島県
54	三ツ星エコクラブ	三ツ星エコクラブ	新潟県
55	だいやエコクラブ	気候変動待ったなし！～こどもたちは未来の地球を救う～	長崎県
56	梅田川水辺の楽校協議会	梅田川遊水地生き物調査	神奈川県
57	株式会社ベネッセコーポレーション	しまじろうとおやこでいっしょに もったいないにちゃれんじ「まみむめもったいない！」	東京都
58	特定非営利活動法人新宿環境活動ネット	「環境学習応援団」プロジェクト	東京都
59	東京学芸大Explayground GTEラボ	GREEN TECH ENGINEER LAB 相模湖・若者の森づくり	東京都
60	国立岩手山青少年交流の家	令和4年度国立岩手山青少年交流の家教育事業テニパーク・エコキャンプ	岩手県
61	一般社団法人グリーンパークあさはた	夏の自然あそび教室	静岡県
62	NPO法人エコレンジャー/神戸市立雪御所児童館	エコカレーづくり	兵庫県
63	岡山県真庭市	じゃろーがーなりちゃん	岡山県
64	わくわくサンゴ石垣島	石垣島発 広めたい！サンゴ学習	沖縄県
65	静岡市環境局環境共生課	生きもの元気通信	静岡県
66	奈良新しい学び旅推進協議会	奈良SDGs学び旅～課題解決力を育む新しいスタイルのラーニングツーリズム～	奈良県
67	一般社団法人パブリックサービス	VRで子どもジオ学習	長野県
68	静岡市環境局 ごみ減量推進課	(地元企業と連携！だれかに話したくなる実体験！)ジブンゴトで考えるごみ問題	静岡県
69	オーステッド・ジャパン株式会社/一般社団法人あきた地球環境会議	カードゲームで考える未来の海！SDGs と生物多様性～VR で体験してみよう洋上風力発電～	東京都/秋田県
70	NPO法人久米島ホテルの会	久米島ホテル館のホタルレンジャー活動	沖縄県
71	品川区環境学習交流施設エコルとごし	エコルといっしょに、身近なものから！	東京都
72	いたやなぎ地活プランニング	ゴミから学ぶSDGs	青森県
73	豊田SUNNY.農園	中学生ボランティアの挑戦	栃木県
74	公益財団法人日本自然保護協会	海の生きもの調査&ごみ拾い「全国砂浜ムーブメント」	東京都
75	NPO法人棚田LOVERS	兵庫県市川町【棚田で食育を】一緒に食べてなかよく優しく	兵庫県
76	明治安田生命保険株式会社	SDGs教育、金融・保険教育	東京都
77	学輪IIDA共通カリキュラム実行委員会遠山郷分科会	遠山郷エコ・ジオパークフィールドスタディ	長野県
78	国立淡路青少年交流の家	国立淡路青少年交流の家における環境体験学習	兵庫県
79	バイオガス出前授業の会	生ごみからエネルギーをつくろう！	東京都
80	せいわエコクラブ	～水はどこから～(私たちのできること)	大阪府
81	加山興業株式会社	KAYAMA本気の環境授業	愛知県

記者発表資料

令和5年12月8日（金）発表・提供

件名	年末年始の業務体制について		
(説明文)	年末年始の業務体制については、次のとおりです。		
1 主旨	令和5年度の年末年始の業務体制については、職員の働き方改革等に資するため、次のとおりとする。		
2 内容	<p>年末年始における市役所の業務体制については、年末が12月28日（木）まで、年始は1月4日（木）から例年どおり業務を行う（12月29日から1月3日までが休業日となる。）。</p> <p>また、職員の休暇取得の促進、年末年始における人出の多い行事へ分散参加等を図るため、12月25日（月）から1月15日（月）までの期間において、職員に3日間の休暇取得を勧奨する。</p> <p>このため、職員全体の仕事納め式を12月22日（金）11時45分から行う。</p> <p>仕事始め式については、1月4日（木）9時から、市長、副市長、教育長及び部課長職にて行う。（一般職員については、庁内LANにて市長訓示を確認。）</p>		
※提供資料の有無：有（別添のとおり）・無			
担当部・課・グループ	総務課人事担当		
担当者名	高橋 和寛		
電話番号	0287-43-1113（直通）	内線電話番号	1520

記者発表資料

令和 5 年 12 月 8 日（金）発表・提供

件 名	『終活に係る業務の支援に関する協定書』締結式の実施について		
<p>(説明文)</p> <p>株式会社鎌倉新書との『終活に係る業務の支援に関する協定書』締結式について、下記のとおり実施いたします。</p> <p>1 日時 令和 5 年 12 月 18 日（月）午後 1 時 30 分から（所要時間：30 分程度）</p> <p>2 場所 矢板市役所 3 階 第一委員会室</p> <p>3 締結事業者 株式会社鎌倉新書（東京都中央区京橋 2 丁目 14-1 兼松ビルディング 3 階）</p> <p>4 概要 矢板市内の高齢者を主とした終活支援として、終活支援冊子の配布、終活に関する情報発信やセミナー開催などにより、市民の方々へ終活に関するサービス提供の質を向上させるため協定を締結する。</p> <p>5 出席者 株式会社鎌倉新書 代表取締役会長 ほか 矢板市 市長、副市長</p> <p>6 備考 令和 6 年 2 月に終活セミナー開催予定</p>			
担当課・担当名	健康福祉部高齢対策課 地域支援担当		
担当者名	穴山 美有希		
電話番号	0287-43-3896	内線電話番号	3212

記者発表資料

令和 5 年 12 月 8 日（金）発表・提供

件 名	矢板市子ども未来館のネーミングライツパートナーの募集について		
(説明文)	<p>矢板市子ども未来館のネーミングライツパートナー(施設に愛称をつける権利を付与された企業等)を募集します。</p> <p>矢板市子ども未来館に企業名や製品名をいれてみませんか。</p> <p>1 目的 矢板市子ども未来館の安定した管理・運営のための財源確保と民間連携による相互の活性化を図ることを目的とします。</p> <p>2 対象施設 矢板市子ども未来館(矢板市本町2-25)</p> <p>3 ネーミングライツ料 税込年額30万円以上</p> <p>4 ネーミングライツの付与期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで(5年間)</p> <p>5 募集期間 令和6年1月10日(水)まで</p> <p>6 応募方法 申込書に必要書類を添えて、市子ども課に提出</p> <p>7 その他 詳細は、市ホームページをご覧ください。 https://www.city.yaita.tochigi.jp/soshiki/kodomo/kodomomiraikan-namingright2023</p> <p>8 問合せ先 矢板市子ども課子育て支援担当 〒329-2192 矢板市本町5番4号 電話 0287-44-3600 FAX 0287-43-5404 メール kodomo@city.yaita.tochigi.jp</p>		
担当課・担当名	子ども課 子育て支援担当		
担当者名	吉田 佐江子		
電話番号	0287-44-3600	内線電話番号	3330

記者発表資料

令和5年12月8日（金）発表・提供

件名	矢板武記念館イベント「あんどん&和傘イルミネーション」について		
日本遺産構成文化財及び市指定文化財である「矢板武記念館」を活用し、以下のとおりイベントを開催いたします。			
1 目的（趣旨）			
このイベントは市指定文化財である矢板武記念館（矢板武旧宅）庭園で、あんどんと和傘を用いたイルミネーションを実施し、記念館を訪れたことがない方にも足を運んでいただく機会を提供すると共に、街中のにぎわいを創出することを目的とする。			
2 日時（実施期間）			
令和5年12月17日（日）～12月24日（日）、16：00～20：00			
イベント期間中の開館時間は、10：00～20：00とし、母屋も観覧可能。			
※臨時休館日は12月14日（木）、15日（金）とし、通常休館日の12月18日（月）、19日（火）は、イベント開催中のため開館とする。			
3 場所			
矢板武記念館 庭園			
4 内容			
あんどん（16個）と和傘（13本）を用いたイルミネーションを実施する。			
入館料は一人150円（20名以上の団体は90円）で学生以下は無料。			
5 関連イベント			
市職員によるアマチュアバンドの演奏会を開催します。（事前申込不要）			
日時：令和5年12月23日（土）、開場14：30、開演15：00（1時間程度）			
場所：矢板武記念館母屋イベントスペース			
※詳細は矢板市デジタルミュージアム（下記QRコード）に後日掲載します。			
6 主催			
矢板市教育委員会			
※提供資料の有無：有（別添のとおり）・無			
担当課・グループ	生涯学習課 文化担当		
担当者名	蛭田 翔		
電話番号	0287-43-6218	内線電話番号	5220



記者発表資料

令和 5 年 12 月 8 日（金）発表・提供

件 名	「矢板市親子プログラミング教室」の開催について		
(説明文)	<p>今年度から本格スタートした親子プログラミング教室は、毎回、定員を大きく上回る申し込みがあり、楽しみながら論理的に思考したり、できた喜びを共有したりする機会となっている。子供だけでなく、保護者も新たな気づきや視点が得られる場として定着してきている。</p> <p>6月、8月は、地元企業であるHCCソフトが講師となり専門的な知見を活かした講座の運営をしていただいた。10月からは、矢板ふるさと支援センターTAKIBIのエンジニアが講師となり、地域住民や高校生のボランティアスタッフとしてサポートする体制で運営している。参加者のみならず、運営スタッフにとっても新たな気づきや学びがあり、それぞれの学びがクロスする事業になってきている。</p> <p>1 日時 令和5年12月16日（土）13時30分から</p> <p>2 場所 矢板市生涯学習館 研修室（1）</p> <p>3 主催 矢板市教育委員会 生涯学習課</p> <p>4 内容 「スクラッチ」を使ったプログラミング体験 ブラウザで「スクラッチ」を操作して、ネコを走らせるプログラミングをした後に、ネコからネズミが逃げるゲームをつくる。 基本ができたら、それぞれ工夫を加え、発表し合う。</p> <p>5 講師 AKKODiS Social Innovation Partners(SIP※)矢板市チーム 野館氏 ※AKKODiS エンジニア向け研修プログラム。課題解決の場として地域の文化や特性を活かした地域住民を主体とした持続可能な仕組みづくりを自治体と協力して進め、活性化に努めている。</p> <p>6 参加対象 矢板市内在住の小学生とその保護者（家族）</p> <p>7 参加人数 親子10組（今回はスタッフ増員に伴い16組受入れ） 11月30日に申込締め切り済</p>		
担当課・担当名	生涯学習課まなび担当		
担当者名	海瀬 裕之		
電話番号	0287-43-6218	内線電話番号	5210

親子プログラミング教室



参加者募集

日時	令和5年12月16日(土) 13:30~15:30
対象	矢板市在住の小学生とその保護者
内容	スクラッチを使ったプログラミング体験 ※6月、8月、10月と同じ内容です
費用	無料
講師	矢板ふるさと支援センターTAKIBIのエンジニア
会場	矢板市生涯学習館(矢板市矢板106-2)
定員	親子10組(希望者多数の場合は、抽選により決定)
申込方法	右記の専用フォームよりお申込みください。
申込期間	令和5年 11月30日(木) 16時まで

12月4日(月)に全員にメールで(抽選)結果をお知らせします。
メールが届かなかった場合には、お手数でも生涯学習課まで、お問い合わせください。

2月にも
開催する
予定です。



申込みフォーム

高校生

ボランティア

スクラッチができる方 歓迎!



募集

プログラミング初心者の小学生をサポートするボランティア活動に参加してみませんか?

- 日時** 令和5年12月16日(土) 13:00~15:30
- 内容** 親子プログラミング体験教室の補助ボランティア
※スクラッチを使った簡単なゲームづくり(テキスト有)を見守り、必要に応じて、サポートする活動や運営補助をお願いします。
- 会場** 矢板市生涯学習館(市立図書館、道の駅の近く)
(矢板市矢板106-2)
- 申込方法** 下記のQRコードを読み取り、申込フォームから
- 申込期間** 令和5年 11月30日(木) 16時まで
- その他** 参加者には「ボランティア参加証明書」を交付します。

申込はコチラから↓



高校生ボラ



高校生がボランティアをすることで期待できる効果

新しい価値観

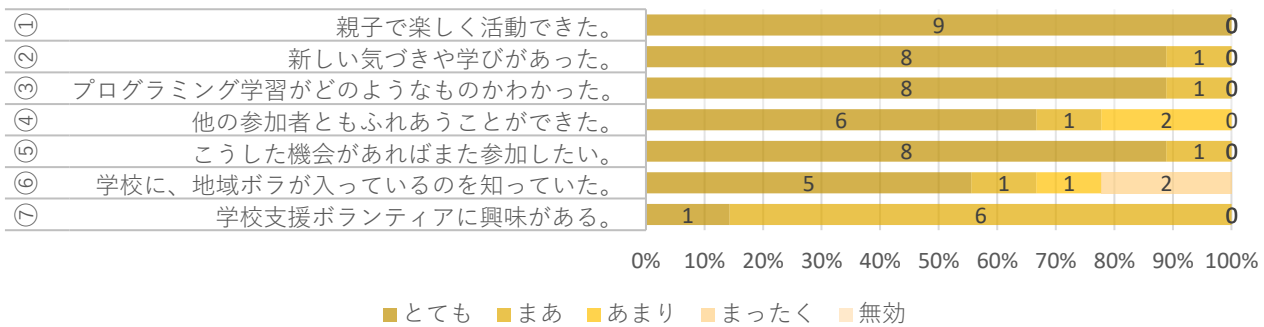
視野が広がる

社会貢献

	とても	まあ	あまり	まったく	無効	計
① 親子で楽しく活動できた。	9	0	0	0	0	9
② 新しい気づきや学びがあった。	8	1	0	0	0	9
③ プログラミング学習がどのようなものかわかった。	8	1	0	0	0	9
④ 他の参加者ともふれあうことができた。	6	1	2	0	0	9
⑤ こうした機会があればまた参加したい。	8	1	0	0	0	9
⑥ 学校に、地域ボラが入っているのを知っていた。	5	1	1	2	0	9
⑦ 学校支援ボランティアに興味がある。	1	6	0	2	0	9

矢板市親子プログラミング教室振り返り

2023.10.28



親子で参加できる教室に今後参加されるとしたら、どのようなものがよいか？

- ア 川で生き物探し● イ 星空観測●●●
- ウ 竹とんぼづくり●● エ スライムづくり●●●●●●●●
- オ 田植え、稲刈り体験● カ のこぎり・くぎ打ち●●
- キ ミシン体験 その他（ハイキング、リンゴ狩り、ツリークライミング）

参加者の感想

- ・くふうすればいろいろなプログラミングができると分かりました。（児童）
- ・数字やものがおちてくるのをできたをおしえてほしいです。（児童）
- ・プログラミングは何回かやったことがありますが、細かいところまですみずみまで知れたので楽しかったです。（児童）
- ・ゲームをつくるのがたいへんでした。（児童）
- ・プログラミング学習ができて楽しかったです。プログラミングが好きなので**今後も参加してすごい作品をたくさんつくりたい**です。（児童）
- ・ねこからにげるゲームのねこをたくさん出すのが楽しかったです。（児童）
- ・将来ゲームクリエイターになりたいと思っているので、このような機会をもらってうれしかったです。（児童）
- ・コツコツ頑張れば楽しいものができるのだと思いました。短時間でゲームを作っている子もいたので、すごいなあと思いました。
- ・プログラミング自体の中身をよくわかっていないので、気づきがたくさんあって、子どもの方が理解が早くてついていくのがいっぱいだった。
- ・プログラミングを学ぶタイミングがなかったので、今回基礎を学ぶことができてよかったです。家でもやってみようと思いました。
- ・自分が考えた動きをさせるために、どんなブロックを使うのか探るのが謎解きのようでおもしろかったです。**スタッフの方がほめながら教えてくれて楽しくできました。**

STAFFの感想

- ・人にうまく教えたり、伝えたりすることは難しいと思った。ボランティアはこれが初めてで、とても貴重な体験ができてよかった。（高校生）
- ・普段から、人に教えるということをしてこなかったけど、わかりやすいように伝えることができてよかった。みんなの上達がとても速いと感じた。みんなが楽しく活動していたことが一番いいと思う。（高校生）
- ・みんな予想以上に発想力や好奇心が強くて、どうサポートしようかすごく難しかった。こんなに小さい子が短時間でここまで作れるなんてとてもすばらしいなと思った。（高校生）
- ・普段教えるような人は同学年ばかりなので、小学生に教えるのはとても新鮮で楽しかったです！ボランティアに参加する経験はなかなか無くて、受験のために、と思って参加してみたのですが、受験以上にもっともっと大きなものを学べました。また参加したいです。（高校生）
- ・意識したこと～多数の親子の方にお声かけできたこと
- ・できたこと～流れや経過にそったサポートができた
- ・わかったこと～プログラミングについて怖さや心配が払しょくされた
- ・お子さんの成長を親御さんが知れるよい機会だと感じた。高校生やTAKIBIの方とも知り合うことができ、これからは楽しみです！ありがとうございます。
- ・高校生ボランティアの方々には大変感謝しています。



記者発表資料

令和 5 年 12 月 8 日（金）発表・提供

件 名	矢板市立図書館 1 月イベントの開催について		
(説明文)	<p>矢板市立図書館主催のイベントをお知らせいたします。</p> <p>1 本の福袋 ジャンル分けした本の福袋をご用意しています。普段は読まないようなジャンルや作家の本など、新しい本と出会いませんか？中身が何かは貸出してからのお楽しみ！</p> <p>○日時 1 月 4 日（木）9：00～なくなり次第終了 ○場所 図書館</p> <p>2 映画会「となりのシムラ」 “どこにでもいそうな普通のおじさん”が巻き起こす、笑いとユーモアに溢れた上質な大人のコメディ。志村けんが NHK とタッグを組んだ異色のコント番組。</p> <p>○日時 1 月 27 日（土）14：00～16：10（開場 13：30～） ○場所 図書館 視聴覚室</p>		
担当課・担当名	生涯学習課まなび担当 矢板市立図書館		
担当者名	(生涯学習課) 増渕 和成 (図書館) 高瀬 千恵子		
電話番号	(生涯学習課) 0287-43-6218 (図書館) 0287-43-5661	内線電 話番号	

記者発表資料

令和5年12月8日（金）発表・提供

件名	矢板高校生の農業委員会総会傍聴について		
(説明文)	<p>今年も矢板高校生を招待し、将来農業経営を目指す生徒の学習の一環として、農業委員会総会の傍聴を行います。</p> <p>総会の開催前に、農業委員から生徒に向けて農業委員会とはどのような組織なのかという内容の講和を聞いていただきます。</p> <p>平成29年度から毎年実施され、今回で7回目となります。</p> <p>1 日時 令和5年12月20日（水） 15:00から</p> <p>2 場所 矢板市役所 第一委員会室（矢板市本町5番4号）</p> <p>3 参加者 農業経営科2年生、3年生合わせて約10名</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 開催通知</p> <p>(2) タイムスケジュール</p> <p>(3) 過去の農業委員会総会傍聴の様子（別添写真のとおり）</p>		
※提供資料の有無	<input checked="" type="checkbox"/> （別添のとおり）・無		
担当課・担当名	農業委員会事務局		
担当者名	主査 柴田 絵梨		
電話番号	0287-43-6220	内線電話番号	4112

矢高生 農業委員会見学タイムスケジュール (案)

13:50 生徒・引率教員 市役所着 第二委員会室へ移動

14:00 委員（石塚会長職務代理）による農業委員会の概要説明

(30分予定)

14:50 生徒・引率教員 第一委員会室へ移動

15:00 総会開始

16:00頃 総会終了

高校生から農業委員へ質問タイム

記念品贈呈（シクラメン） 生徒代表→会長（写真撮影）

会長 挨拶

引率先生 挨拶

17:00頃 解散

矢板市農業委員会事務局

担当：柴田

TEL:0287-43-6220

矢農委第 229001 号

令和 5 年 11 月 16 日

栃木県立矢板高等学校長 今泉 光由 様

矢板市農業委員会長 渡邊 浩正

第 7 回矢板市農業委員会総会の傍聴の御案内について

晩秋の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から農業委員会活動への御協力、御理解を賜り厚くお礼申し上げます。さて、今年度も農業委員会総会の傍聴に貴校の生徒を御招待したく下記のとおり御案内申し上げます。

記

1. 日 時 令和 5 年 12 月 20 日 (水) 午後 3 時から
2. 場 所 矢板市役所 第一委員会室
3. その他 総会前に農業委員会についての概要説明をしま

すので、午後 2 時までに御来庁ください。

矢板市農業委員会事務局 柴田

TEL 0287-43-6220

FAX 0287-44-3324